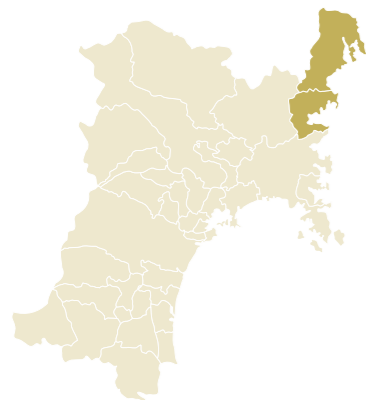


気仙沼・本吉エリア

気仙沼市／南三陸町



気仙沼・本吉エリアは県北東部に位置し、気仙沼市、南三陸町からなる1市1町です。太平洋に面した沿岸地域は、半島や入り江など、複雑かつ変化に富んだリアス海岸を形成し、四季を通して豊かな天然の港です。

気仙沼市では、生鮮カツオの水揚げ量が28年連続日本一となりました。「第72回気仙沼みなとまつり」が港町・内湾地区で開催され、約2100人が参加した「大はまらいんや踊り」では、にぎやかな掛け声と息の合った振り付けに、港町一体が熱気に包まれ、大いに盛り上がりました。

南三陸町では、ひとつとが集い、交流する場として「うみへの広場」を整備し、令和5年7月にオープンしました。志津川市街地の回遊性を高めるとともに、町民及び来町された方々の憩いの場となることが期待されています。

気仙沼・本吉エリア

	被害状況	
	地域合計	県内合計
死者	1,840人	10,571人
行方不明者	425人	1,215人
全壊	11,626棟	83,005棟
半壊	2,749棟	155,131棟

令和5年9月30日現在

	応急仮設住宅入居者数	
	平成24年4月	令和2年12月
プレハブ住宅	14,085人	0人
民間賃貸借上住宅	4,944人	0人
計	19,029人	0人

	災害公営住宅整備状況
	平成31年3月末
計画戸数	2,825戸
完了戸数	2,825戸



生鮮カツオ水揚げ量28年連続日本一(気仙沼市)



第72回気仙沼みなとまつり「はまらいんや踊り」



気仙沼・本吉エリアの定点観測

気仙沼市内湾地区(南町海岸)

気仙沼市内湾地区の「南町海岸」には、大島との間を結ぶフェリーターミナルがありましたが、津波により大きな被害を受けました。現在は防潮堤の躯体と合わせた商業観光施設もオープンし様々なイベントが開催されるなど、新たな賑わいの場として市内内外の皆様が親しまれています。



被災直後



被災から14年後

気仙沼市内湾地区(魚町)

気仙沼市内湾地区の「魚町」には、地元の方々に親しまれた複数の国登録有形文化財がありましたが、津波により大きな被害を受けました。写真の建物は3階部分を残して倒壊しましたが、できる限り当時の材料で復元し、震災前の佇まいを取り戻しました。



被災直後



被災から14年後

南三陸町志津川地区

津波によって骨組みだけが残された「南三陸町旧防災対策庁舎」は、令和2年10月に開園した「南三陸町震災復興祈念公園」内にあり、震災の記憶や教訓を現在に伝えていきます。



被災直後



被災から14年後

南三陸町志津川地区

中心市街地の広範囲に津波が押し寄せ、大きな被害を受けました。令和4年10月には、道の駅「さんさん南三陸」及び南三陸町東日本大震災伝承館「南三陸311メモリアル」がグランドオープンしました。



被災直後



被災から14年後

写真提供：3.11オモイデアーカイブ